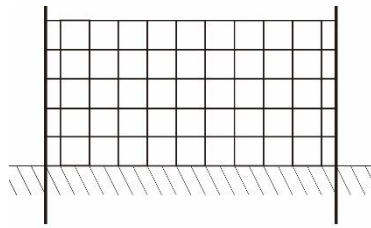


# 防獣柵の進化

## 最初の柵は、簡単だった

私たちが、世羅の畑に入植した1996年は、造成工事が終わったばかりで、畑の周囲には草も生えていませんでした。そのためか、畑にイノシシやシカが来ることはありませんでした。

それから10年たった、2007年頃からジャガイモやサツマイモが食べられるようになり、その被害は年々ひどくなって、2011年ついに畑の周囲を防獣柵で囲むことになりました。1m×2mの太さ1.5mmの鉄筋で作られたワイヤーメッシュを2m間隔で地中に50cm打ち込んだ金属支柱に固定して、1枚目の畑の周囲を囲みました。



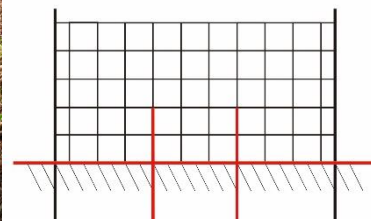
2011/02/05  
最初の防獣柵

## 下を掘るイノシシ

しばらくの間はこの柵のおかげで、イノシシやシカの被害はなくなったのですが、翌年には、柵の下を掘って畑にやってくるようになりました。ワイヤーメッシュを



2012/08/26  
支柱ごと引き抜かれた。



支柱の数を増やし、下を鉄筋で固定。

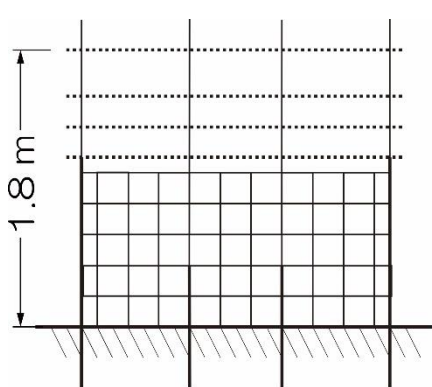


固定する支柱やペグを追加したのですが効果がなく、地際に鉄筋を入れて、強度を増すことにしました。この対策を施したところからは、今のところ入られていません。

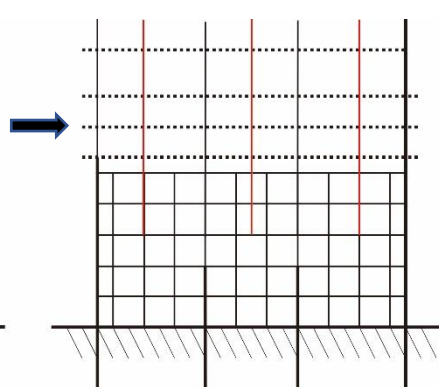
## 上から乗り超えるシカ

イノシシが柵の下を掘って畑にやってくるのと違い、シカは柵を飛び越えたり、柵の上部に開いた空間をくぐったりして入ってきます。初めのころ(①)は、ワイヤーメッシュの上にワイヤー(点線)を張っただけで、効果があったのですが、数年たつとワイヤーを固定している柱を折り曲げたり、ワイヤーを噛み切ったり、ワイヤーの間隔が広いところをくぐるなどして、畑に入ってくるようになりました。

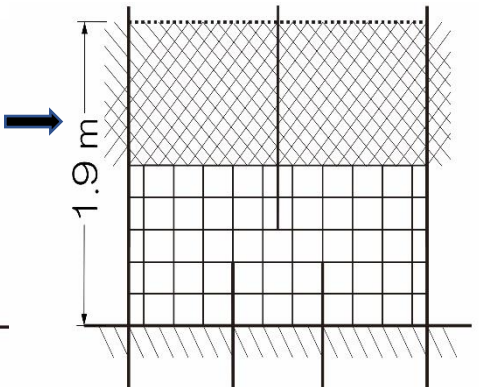
柱を増やして(②)対応していますが、針金やワイヤーが切れてしまうこともあり、なかなか侵入を防ぐことができません。今一番効果的なのが、シカやイノシシ除けとして売っている網を防獣柵の上に張る(③)ことです。設置に手間がかかるのですが、この対策をした場所からは多分入ってきていないと思います。



①柵の上部にワイヤーを張る



②固定する支柱を増やす



③ワイヤーに代わりネットを張る

## 知恵比べは続く

大丈夫と思っていても、毎年どこからかイノシシやシカが畑に入ってきます。去年は、どこから入ったのかわからずじまいでした。ひょっとすると、人がいる間に堂々と入り口から入ってきて、畑に潜んでいるのかと疑いたくなります。畑をめぐる攻防は、まだまだ続きそうです。